

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

台風

今年の夏休みは、台風のせいで(おかげで?) 1日早く夏休みがやって来ました。そして、夏休みの終盤にも大きな台風がやって来て、ヒューヒューという恐ろしい風の音に体を震わせていました。



小さい頃、台風が来ると母は非常食を買い込み、父は雨戸を閉め、薄暗い部屋で家族四人が体を寄せ合って、風の音におびえていました。そして、両親の子どもの頃の話聞きながら台風が過ぎ去るのを待っていたものです。

恐ろしい台風ですが、心のすみに懐かしい思い出もかすかに残っています。

皆さんのご家庭はいかがでしたか。被害はございませんでしたか。

かや 蚊帳

蚊帳(かや)と言っても、知らない人ばかりかもしれません。職員室の中を見回しても、ええーと、知っているのは5、6人でしょうか。

私たち(職員室の5、6人)の子どもの頃は、エアコンなんてありませんでした。夏の夜は、窓を開けっ放しにして寝るしかありませんでした。窓には、網戸なんてありませんでした。ですから、夜になると一つの部屋に家族みんなの布団を敷き、その部屋に蚊帳を吊すのです。

蚊帳というのは一部屋すっぽり覆ってしまうほどの大きなネット状のもので、窓から入ってくる虫から身を守ってくれるのです。

エアコンがなかったおかげで、一家団らんの夜の時間がありました。

そして、時々、窓から蝉やカブト虫が入ってきて蚊帳にとまり、大騒ぎしたものです。

ちなみに「蚊帳の外」という言葉は、この「蚊帳」からきているのですよ。



すずめの学校

♪♪

チイチイパッパ チイパッパ

すずめの学校の先生は

ムチをふりふりチイパッパ

♪

♪

台風の日、朝、学校に向かっていると、自動車のラジオから昔懐かしい「すずめの学校」の歌が聞こえてきました。明るい曲、可愛らしい歌声。でも、この歌詞少しばかり怖いと思いませんか。

「すずめの学校の先生は、ムチをふりふりチイパッパ」

なのです。

この歌は、日本が戦争の道につき進んで行く時代に作られました。

♪♪

まだまだいけないチイパッパ

もう一度いっしょにチイパッパ

♪

と歌は続きます。

その一方、「メダカの学校」は、随分様子が異なります。

♪♪

だれが生徒か先生か

みんなで元気に遊んでる

♪

昭和25年、戦争が終わり日本が民主的な世の中を取り戻そうする時代に作られた歌です。

歌は世相を表しています。

さて、平成の時代の春日小学校の先生は、どのような歌詞がふさわしいでしょうか。

みんなで作ってみませんか。

♪♪

チイチイパッパ チイパッパ・・・かすがの学校の先生

は・・・

♪

